

公益財団法人 文字・活字文化推進機構 NEWS LETTER

Vol.1

2021年8月26日

いつも当機構の運営にご指導・ご支援いただきまして、心より感謝申し上げます。

機構活動を適宜ご案内するため、NEWS LETTERを発行することといたしました。各種活動にご参加いただいたり、お気づきの点をご指摘いただけましたら幸いです。

オンライン開催決定 読書バリアフリーフォーラム



9月5日、「あなたも読書サポーター！本と多様な立場の読者をつなぐために」を開催いたします（主催：国立青少年教育振興機構、主管：当機構）。当初はオンライン配信と名古屋国際会議場での現地開催を予定しておりましたが、緊急事態宣言の発令を受け、全面オンラインに切り替える運びとなりました。

本フォーラムでは、読書サポートを求めている人たちの現状や、どんな支援方法があるのかを語り、これからの読書のあり方を考えるシンポジウムを生配信します。また、ICT(情報通信技術)を活用する読書サポート方法を紹介するオンライン講習会も開催します。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

日本経済新聞社共催シンポジウム 出演者決定

今年度も、当機構と日本経済新聞社による共催シンポジウムを開催いたします。今回は、日本経済新聞に「ふりさけ見れば」を連載中の直木賞作家・安部龍太郎さんと、『星落ちて、なお』で今年の直木賞を受賞されたばかりの澤田瞳子さんに、歴史小説の魅力を存分に語り合ってください。昨年と同様、参加費無料のオンライン配信でお届けします。視聴申込の受け付けは、9月2日から当機構のホームページで開始予定です。

【主 催】 日本経済新聞社、文字・活字文化推進機構

【配信日時】 2021年10月5日（火） 18：30～20：00（予定）



安部龍太郎さん

作家。1990年『血の日本史』でデビュー。2005年『天馬、翔ける』で中山義秀文学賞、13年『等伯』で直木賞をそれぞれ受賞。『彷徨える帝』『関ヶ原連判状』『信長燃ゆ』『姫神』『迷宮の月』など著書多数。現在、日本経済新聞朝刊で「ふりさけ見れば」を連載中。



澤田瞳子さん

作家。2011年、デビュー作『孤鷹の天』で中山義秀文学賞を受賞。12年刊行の『満つる月の如し 仏師・定朝』で新田次郎文学賞、16年『若冲』で親鸞賞、20年『駆け入りの寺』で舟橋聖一文学賞をそれぞれ受賞。21年『星落ちて、なお』で第165回直木賞に選ばれた。

上記の両イベントとも、見逃し配信をおこないます。随時、当機構HPでご案内しますのでぜひご視聴ください！

公益財団法人 文字・活字文化推進機構

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2-30 共同ビル神保町4F
TEL 03-3511-7305 FAX 03-5211-7285 MAIL office@mojikatsuji.or.jp
http://www.mojikatsuji.or.jp/